

ゴミゼロ 530 レポート 第37号 2003年11月30日 発行

編集と発行 530運動環境協議会

〔豊橋市今橋町1番地 豊橋市役所廃棄物対策課内 電話(0532)51-2409〕

〔ホームページ <http://www.530.toyohashi.aichi.jp>〕

〔メールアドレス 530@city-toyohashi.jp〕



530ビデオのキャラクター「トントン」(詳細2ページ)

皆さん、はじめまして。

ぼくの名前はトントン、530ビデオのキャラクターだよ。

ぼくは公園に棲む「ごみゼロの妖精」なんだ。ごみのないきれいな公園こそみんなが快適に暮らすことのできるパラメーター、そんな思いからぼくを作ってくれたのが田中 博士(たなか ひろし)さん。ぼくの名前は豊橋まつりでおなじみの「トントン豊橋」のトントんに、きれいに整頓のトンをかけて楽しく元気いっぱいイメージしたものなんだ。

これから530のビデオで大活躍するんだ。
ポイ捨てなんか許さないぞ！
豊橋をきれいなまちにするんだ！！
緑豊かできれいな豊橋を、地球を皆で守ろう！！

目次

幼児用環境教育ビデオの キャラクター決まる	2
「愛・地球博」530日前 駅前クリーンアップ大作戦実施	3
会員紹介コーナー	4
編集後記	4

できることから始めよう

環境市民530大集会開催

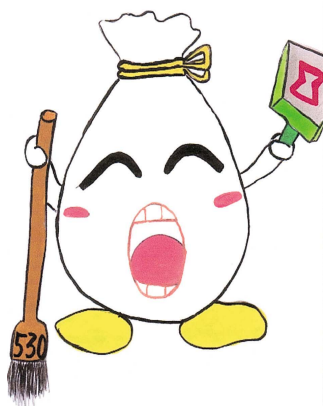
平成15年9月20日（土）、530運動環境協議会主催、豊橋市共催により環境市民530大集会が開催されました。昨年度までは「ごみ減量推進大会・リサイクルフェア」と称して主としてごみ減量とリサイクルをテーマにイベントを行っていましたが、今年度はこれらに省資源・省エネルギーの要素を盛り込んで装いも新たに開催いたしました。

当日は朝からどんより雲が空一面に広がり、今にも雨が降り出しそうなお天気の下、公会堂では午前10時より環境市民530大集会が始まりました。約500人もの観客を迎え厳粛な雰囲気の中、主催者の530運動環境協議会石井会長、続いて来賓の早川勝豊橋市長のあいさつに続き、今年度本協議会が作製する幼児用環境教育ビデオのキャラクターの最優秀・優秀作品の発表並びに表彰式を行いました。先に一般公募して応募のあった作品の中から、最優秀賞として豊橋市石巻町の田中 博士（たなか ひろし）さんの「トントン」が、優秀賞として豊橋市立二川南小学校6年生の植田 匠（うえだ たくみ）君の「530（ゴミオ）」と豊橋市立中部中学校2年生の福井 英美（ふくい ひでみ）さんの「ピカイチ君」が選ばれ、石井会長より三人にそれぞれ賞

状と記念品が贈られました。司会の小濱早霧さんよりインタビューを受けた三人はスクリーンに映し出された自分たちの作品について説明しながら、作品に込めた思いや地球環境に対する行動や考えを述べたほか、今後の530運動に対する期待などを話してくれました。

また第二部の講演会では、作家のC・W・ニコルさんを講師に迎え、「人と自然との共生」をテーマに約90分間講演を行い、荒廃した森林を甦らせることの難しさやそれでも幅広い市民参加で積極的に活動していくことの大切さを氏の豊富な経験から力説され、参加した観客は興味深げに聞き入っていました。

外はあいにくの雨となりましたが、約150店からなるフリーマーケットや530会員による出展ブース、更生保護女性会による団子販売や消費者協会によるバザーのほか、毎年恒例の豊橋市環境部によるリサイクル品のビンゴ抽選会で屋外会場は大いに盛り上がりました。また団子の売上は豊橋善意銀行に寄附させていただきました。ここに厚く御礼申し上げます。



植田君の作品



福井さんの作品



インタビューを受ける3人
（向かって左から
司会者、田中さん、植田君、福井さん）

豊橋の「顔」をキレイにしよう!!

駅前クリーンアップ大作戦実施

2005年に愛知県では「愛・地球博」が開催されます。その愛・地球博開催530日前にあたる平成15年10月12日(日)朝7時より豊橋駅東口周辺の清掃活動を530運動環境協議会の役員を中心に行いました。

当日は朝より雲行きが怪しく、いつ雨が降ってきてもおかしくないそんな空模様でしたが、初めての試みであるにもかかわらず飛び入り参加者を含め約75人もの人たちがペDESTリアンデッキに集合しました。参加者を3班に分けて清掃場所の分担を行い、会長あいさつ、事務局諸注意のあと、参加者は軍手をはめ、片手にゴミ袋、片手に火ばさみ、頭に530帽子といった格好でそれぞれの持ち場へと散っていきました。

ビン・カンやペットボトル、新聞雑誌や弁当の容器などを回収していく中、一番多いのはやはりタバコの吸殻でした。路上だけでなく花壇の土の中や植え込みの中にもあるわあるわ、こういった場所の清掃には火ばさみは必需品です。ペDESTリアンデッキの上だけでなく、歩道や公園、狭い通路や路上などもゴミ集めに回りましたが、約1時間といったとても短い間に集められたゴミは何と40~50袋、あっという間に軽トラックの荷台がいっぱいになってしまいました。

以前より豊橋駅周辺にごみが散乱している、何とかできないだろうか、といった声はよく聞かれました。冒頭でも申し上げましたように、愛知県は万博開催を2年後に控え、世界各地から訪れる人々に楽

しんでもらえるよう、ポイ捨てごみのないきれいな愛知県にすべく県下一斉で「あいちクリーンアップキャンペーン」を行っており、10月は推進月間であります。

530運動環境協議会はこの趣旨に賛同し、例年11月11日の市民の日を中心に行っていた秋の530運動を1ヶ月早めて10月12日から21日までの10日間を「530とよはしクリーンアップ大作戦」と銘打って、市内一斉の530運動実践活動期間と定めるとともに、通常ゴミ袋をお渡ししているのに加え、軍手と帽子も配布させていただきました。

またこの日は西羽田町町内会が早朝より750人もの町内の皆さんが参加して町内の清掃活動を行っているとのことで会長とともに激励訪問にお邪魔いたしました。

そのほか、協議会ではタバコやジュースの空き缶空き瓶などのポイ捨てを防止するため、下のようなステッカーを作成し、自動販売機などに貼って普及啓発に努めています。ご希望の方は差し上げますので事務局までお問い合わせください。

なお、この駅前クリーンアップ大作戦は今後も継続していきたいと思っておりますので、大勢の皆さんの参加をお待ちいたしております。日程等はホームページなどでお知らせしますのでご確認ください。

皆さん清掃が終わった後の顔はとてもすがすがしそうでした。やっぱりきれいな豊橋っていいですね。何と言っても豊橋駅は豊橋の「顔」ですから。



清掃風景



ステッカー

会員紹介コーナー

今回は、「地球環境にやさしい」がテーマです。

伊藤ハム株式会社

豊橋工場（藤並町）

「地球にやさしく環境に配慮する工場」

伊藤ハム株式会社（本社：西宮市）は、“食品の安全”“品質の向上”に加え、環境問題への対応を新しい経営のパラダイムとして、環境理念・方針・目標を定めた“環境基本方針”を制定し、全社的な環境活動を展開しています。豊橋工場では、2000年11月に環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を取得しました。

地球環境の保全を最重要課題の一つと認識し、530運動の発祥地である豊橋市を中心とした地域社会との共生をめざして「地球にやさしく環境に配慮する工場」をスローガンに、工場長以下全従業員が環境マネジメントシステムを構築し、目標達成に向けた積極的な環境活動の取り組みを展開しています。環境活動方針に、「エネルギーの削減」「廃棄物の削減とリサイクル率の向上」「水の削減」を主要テーマにかけ、環境負荷の低減に向けて、様々な環境パフォーマンスを推進しています。

また、530活動に関しては、毎月2回、従業員による工場周辺や国道でのゴミ拾い清掃活動を実施しており、地域の環境保護を目的としたクリーンアップ活動を通して、更なる地域社会との共生を図っていきます。

尚、伊藤ハムでは毎年定期的に環境報告書を発行して、環境活動の取り組み、環境パフォーマンスの達成状況、遵法状況等の情報開示を行っています。

（環境報告書は、伊藤ハムホームページでも御覧頂けます）



工場周辺のゴミ拾い清掃活動の様子

豊橋リサイクル

運動市民の会（多米中町）

企業と市民活動が一体となり、 育児、子供用品をごみにしない活動 物と心の交流の場 「Kidsフリーマーケット」

私たち「豊橋リサイクル運動市民の会」は、資源の再利用、リユース、家庭ごみの減量を活動目的に、平成元年に設立されました。楽しみながら継続できる市民活動として「フリーマーケット（フリマ）」の開催をして参りました。平成11年3月より、「株式会社イオン」の協力により市内野依町にある「ジャスコ豊橋南店」さんの駐車場をお借りして、育児子供用品、手作り品を中心とした「キッズフリマインジャスコ」を開催させて頂いております。

12月、1月、2月、を除く、毎月一回、第二火曜日、午前10時より午後1時までの開催です。参加者も、お客様も子供連れのお母さんが多いのが特色です。

育児子供用品は使用サイクルも短く、ごみとして捨てられていることも多く、会設立当初からの課題でした。衣類、おもちゃ類、ぬいぐるみ、ゲームなど新品同様の沢山の物が出店されており、大半は、100円単位とか10円単位、無料などもあり、売ると言うより譲ると言う感覚の人が多いようです。そのほか、近年、チャイルドシートなども着用の義務化に伴いさらに、ごみの増加が心配され、減量のためのフリマの存在が重要となってまいりました。毎回、会場では育児を終えた先輩お母さん、子育て中の新米お母さん同士が出会い、育児、生活情報などを交換したり、時には友達関係も出来て、育児の悩みなども話し合えたり井戸端会議の場となり、楽しい雰囲気になっております。

「キッズフリマ」は、リサイクル、育児情報交換、友達づくりなど、二重三重の満足を得られる場所となっているようです。

毎回、参加者数は平均40～50名。春、秋は70～80名程にもなり、増えつつあります。来客数も1,000名近くなることもあり、市民生活に密着したフリマと言えます。

是非、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

豊橋リサイクル運動市民の会

[代表] 夏目 利道

[携帯] 090-3561-9187 TEL / FAX (0532) 63 - 5477



月に1度のフリマは今日も大盛況

編集後記

この編集後記に何を書こうか考えていた矢先、悲しい知らせが事務局に飛び込んできました。530運動環境協議会に統合する前の530運動推進連絡会で第二代会長を務められた神谷邦雄氏のご逝去されました。初代故野澤東三郎氏の後を継いで会長に就任され、常に先頭に立って530運動の実践と普及啓発に全力を注がれ、リーダーシップを発揮されました。氏自身会長の座を後進に譲ってからも530運動に対し貴重なご意見ご指導を賜りました。先代の皆様方が築いた礎を今後も継承し、石井会長の下530運動環境協議会は環境世紀に向け、緑豊かで住みよいまちづくりをめざしてがんばってまいります。心からご冥福をお祈り申し上げます。